

厚生労働省推薦

# ゆずり葉の季節

はる

大切な人の

最期の願いを

かなえるために



作／松下哲子 演出／ふじたあさや 立案／小野宏志(医療法人社団 心)  
音楽／川崎絵都夫 美術／矢羽田輝伸 照明／坂本義美 音響／山北史郎  
衣裳／上保節子 制作／上保節子

制服を着て、カメラの前に立つ美咲。美咲は、この春から、中学生になる。

美咲のすぐ隣には、ベッドに横たわる祖母とし子。そして、父、母、叔母。さらに、とし子のかかりつけの医師や看護師がとし子を囲み、カメラに向かって笑っている。幸せそうな家族写真だ。しかし、この時、すでにとし子は、亡くなっている。なぜ、こんな写真撮ることになったのか。撮ることができたのか。

初めて、身近な人の命と向き合うことになったとき、家族それぞれの思いが交錯する。

「旅立つとし子が残したものとは？」「それを受け取った家族の想いとは？」

## 上演にあたって

命とはなんだろう。生きているとは、死ぬとは。「命は、かけがえないもの。誰の命も奪うことはできない。」みんなが、命の大切さを躍起になって訴え、死を連想させるものを排除する。でも、本当にそれでいいのだろうか？ 死を感じるからこそ生を強く感じることもできるのではないか。昔は病院も少なく、家で亡くなること当たり前であった。死がとも身近にあり、家族が亡くなるその時まで、共に死について考え、その人の一生、人生、生き方について考える。去っていくものと残されたもの。それぞれが真剣に向き合う。それが、家で家族を看取ることの意味につながっていくのではないだろうか？ 一般公演で「せひ、この作品を中高生に！」と、熱い声。ゆずり葉のように受け継がれてきた命に幸せを感じてもらえたら・・・。

劇団創立75年。「子どもたちに夢を」小中学校の演劇教室を中心に活動。

公益社団法人 教育演劇研究協会



劇団 たんぽぽ

〒435-0015 静岡県浜松市東区子安町323-3 TEL053-461-5395 FAX053-461-6378